

しゃきょう

社協 かみかわ

No.112

～地域福祉の情報紙～

主な記事

- 2 ページ 社協会費 善意の募金お願い
- 3 ページ ひと花通信
七尾市災害ボランティアセンターへの職員派遣を通して
- 4 ページ たまゆらの会版 [介護の知恵袋]
- 5 ページ ちょっと“イイコト” TSU・NA・GU^④
- 6 ページ 社協第3次地域福祉推進計画 part3
- 7 ページ まちの子育てひろばの紹介 心配ごと相談のご案内
職員募集
- 8 ページ 感謝のお知らせ かみかわペンリレー^⑦

2024年6月発行



6・7

月号

編集発行 社会福祉法人
神河町社会福祉協議会

表紙より

薫る風に、若葉ゆれる草原。土や草にまみれて駆けまわる子どもたちの歓声が響きます…

新しいメンバーも募集中!

(まちの子育てひろば
野外自主保育みあいつ子にて)

〈7 ページに関連記事〉

社協会費納入にご協力をお願いします!

皆様からご協力いただく社協会費は、『困っている人』を支援する事業や、社協運営のために活用しています。社協会費にご協力いただくことで、社協が展開する『誰もが安心して暮らせるささえあいの地域づくり』に参加していただくこととなります。

社協は、皆様のご参加とご協力を得ながら福祉の輪を広め、地域に密着したきめ細やかな事業を進めてまいります。今年も皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いいたします。

会費の使いみち…

- 暮らしの安心相談の開設
- 社協広報紙の発行
- 車両の維持管理・人件費以外の事務費等



◆◆◆一般会費のお願い(各世帯にお願いする会費)◆◆◆

6月～8月の間に、区役員様が各世帯からの一般会費を取りまとめさせていただきます。

1世帯 1,000円

◆◆◆特別会費のお願い(法人事業所にお願いする会費)◆◆◆

6月に町内の法人事業所に依頼文と振込用紙を郵送します。
ご協力いただいた事業所を、社協広報紙で順次ご紹介いたします。

1口 1,000円～

～まず隣からひろげよう たすけあい～

6月1日は『善意の日』

現在、物価高騰の影響などで、生活上において不安な状況が続いています。一方、コロナによる様々な規制が緩和され、社会全体が再び動き始めています。このような時こそ、一人ひとりができるお互いに助け合う取り組みやサポートをはじめましょう。

思い合いの行動を普段の生活の中で実践していこう、輪を広げていこう、6月1日は一人ひとりが気持ちを新たに見つめ直す日です。

神河町社会福祉協議会・神河町善意銀行

誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくりのために…皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

善意の募金

**納入期間
6月～8月**

※募金金額は特に定めておりません。

こんな事業に活用します!

- *週に一度の福祉給食サービス事業
- *就園前の幼児と保護者が集まる子育てひろばへの助成金
- *子育て世代支援イベントの開催
- *安定したボランティア活動のためのボランティア活動助成金
- *様々なボランティア講座、研修の開催 等々

ひと花通信

中央公民館で『ひと花作品展』を開催しました！

この度は、作品の展示期間中、たくさんの方にお越しいただき、本当にありがとうございました。これからも様々な事に取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いします。

作品展に初めて作品を出した感想を、利用者に聞いてみました…

- みんなに見てもらうのは恥ずかしかったけど、見に来てくれた人から「すごいですね。元気もらえました。」のメッセージがあり、とてもうれしくなりました。
- 頑張った作品を見てもらって「すごい！」と言われて、「よっしゃー！」という気持ちになりました。すごくうれしいです。
- 私たちが、いつもどんなことをしているのかを見てもらえてよかった。
- 見に来てくれた方からのメッセージが、めっちゃ嬉しかった。
- もっと頑張りたいと思った。



ひと花作品展風景



今回の作品展を通じて、ひと花の様子や利用者の得意なことをご紹介する良い機会となりました。また、ご来場された皆さまから、温かいメッセージをたくさんいただき、利用者にとっても大変励みとなりました。誠にありがとうございました。

あたたかな支援が行われていました…『能登半島地震』

ー七尾市災害ボランティアセンターへの職員派遣を通してー

七尾市社協が運営している災害ボランティアセンター^(※)にも、大型連休中ということもあり全国各地からボランティアが駆け付け、1日あたり100名以上も災害ボランティア活動に取り組みられました。(写真参照) 被災家屋から仮設住宅への家財や電化製品の搬出入、床に散乱している陶器類の片付けなど、あたたかい支援が行われていました。

震災から4カ月以上が経過する中、まだ避難所生活をされている方がおられ、被災した家屋の片付けが手つかずのところもあり、今後も継続した支援活動が必要であると感じました。

能登半島へのアクセスも震災当初から比べると容易になりましたので、ご都合のつく方は、被災地でのボランティア活動をご検討されませんか。なお被災地で支援活動をされる前に、本会で加入できるボランティア市民活動災害共済保険(600円/人)を事前に加入いただくと現地での活動がスムーズとなります。

(※) 災害ボランティアセンターとは

災害ボランティアセンターとは、災害被災地および被災者を支援することを目的に開設される機関で、被災地の社会福祉協議会が多様な機関と連携・協働して設置・運営をしています。



スタッフより、活動内容の説明や諸注意等をうけるボランティアのみなさん

たまゆらの会は介護している家族が集まってお互いの悩みや体験を共有し、励ましあいながら活動している当事者の会です。会員の方が介護生活の中で身につけられた知恵や経験を皆さんと共有できたらと思い、知恵袋という形でまとめましたので是非ご覧ください。

ケース
01

「電子レンジ、ペットボトルも介護に活用！」

- 顔を拭いてあげる際に、絞ったおしぼりだとすぐ冷たくなってしまうので、おしぼりをジッパー袋に入れて電子レンジにいれると比較的温かいまま使えます。
- ペットボトルの蓋に穴をあけて作る陰部洗浄ボトルは一気に温水が出ないから非常に役立ちます。



Point

家庭にあるものでうまく活用すればとても便利な介護グッズに変身するようですね。

ケース
02

「時間の使い方」

- 訪問看護師さんが来てくれている間を見計らい買い物を一気にまとめて済ませます。
- 自分が早く食べ終えてお世話しないといけなから自然と早食いになりました（笑）



Point

目を離せない状況にあり時間の確保が難しい反面、皆さんそれぞれに工夫して時間を有効活用されているようです。

ケース
03

「つかず離れずの距離感」

- 本人自身、年齢を重ねて介護されるようになると昨日まで自分で出来ていたことも急にできなくなり、自分に対して怒りを持つことがあります。その時はすぐに手助けするのではなく、「できないことは仕方がないから、できることをすればいいよ」と伝えてそっと見守ることもありました。



Point

縛ってしまっては嫌がりますし、見離すとリスクがあるので、程よい距離感で見守ってあげること、必要に応じて手を差し伸べて助けてあげることが大切です。

ケース
04

「おススメの気分転換」

- 介護生活における疲れをリフレッシュするには介護サービスを利用しながら、旅行もおススメです。その日を楽しみに日々 の介護を頑張れます。うじうじしていたらダメ。引っ込んでいたらだめ。外に出て発散することが大切です。本人と一緒にいく場合はお世話の面で大変な場面もありますが、後で思い返すと素敵な思い出になります。



Point

介護される方と一緒に旅行に行く際には協力者が必要不可欠になってくるので事前の準備をしっかりとして旅先での万が一にも備えておきたいところです。

たまゆらの会は堅苦しい雰囲気ではなく、互いの心の琴線に触れるような温かい雰囲気に包まれた集まりなのでお気軽にご参加ください！

神河町社協 電話 32-2303



ちょっと“イイコト”

町内の小学、中学、高校生が取組んだ「いいこと」や「誰かにしてもらって嬉しかったエピソード」を紹介します。

～ちょっと“いいこと”運動の取り組みから～

神河中学校3年生 福田花奏さん

Q：あなたがした“いいこと”を教えてください。

A：混んでいる駅の階段で、足が不自由で杖をついている人が歩きにくそうにしていたので、腕を貸してあげた。

Q：あなたが、だれかにしてもらった“いいこと”があれば、そのできごとを教えてください。

A：忘れ物を届けてくれた。

Q：“いいこと”をしたり、してもらったことを通して、どう思いましたか。

A：“いいこと”を行ったら「ありがとう」と言ってもらい、私もやって良かったと思ってうれしくなった。

あなたがしてもらった“いいこと”を教えてください。

あなたが誰かにしてもらい嬉しかったエピソードがあればぜひ社協までお知らせください。社協広報紙に掲載し、町民の方にも優しい気持ちを届けます。

内容を200字程度にまとめ、郵送、FAX、メールにて社協へご応募ください。匿名での掲載も可能です。

TSU・NA・GU^{④8}

〈春からのスタートin 越知谷〉

この春、越知谷では地域自治協議会の活動拠点が
大畑区のふれあい喫茶ほっと内にオープンしました。

それに伴い、平日は集落支援員が常駐しています。ふれあい喫茶「ほっと」と地元の方が育む居心地の良い空間、オッタニ文庫のたくさんの蔵書、レトロな蓄音機と懐かしいレコード、これらのものに囲まれて、越知谷の皆さんが親しみやすい場所になっていると感じます。月曜日のオッタニ文庫、水・日曜日のふれあい喫茶「ほっと」はこれまでどおり実施されています。さらに今後は、趣味の活動や体操など越知谷全体の新たな集いの場が生れることも期待できます。

そして5月からは、TSU・NA・GU^{④8}でも紹介した越知谷で『有償助け合い活動』が本格的にスタートしました。この活動は、年齢を重ねたり身体が弱ってきたりして以前は出来ていたことがやりづらくなってきた方のお手伝いを、地域の方が有償でおこなうものです。利用者にとっての生活支援、協力者にとっての介護予防を目指しています。

越知谷の皆さんのご理解とご支援で、お互いに助けたり助けられたりしながらこれから先も安心して暮らし続けられる地域づくりが始まりました。生活支援コーディネーターとして、これからも越知谷の地域づくりを応援していきます。

有償助け合い活動のお問い合わせは、越知谷ブロック地域自治協議会集落支援員（TEL090-8776-1234）又は社協生活支援コーディネーター（TEL32-2303）までお電話ください。



総合目標

心をつなぎ 笑顔あふれる 安心の地域づくり

活動目標

① 違いを認め合う福祉教育をいろんな世代ですすめよう！

② ひとりぼっちをつくらない地域にしよう！

★ ③ 見守りあい、支えあう仕組みづくりをすすめていこう！

④ 身近な困りごとをキャッチしよう！

⑤ 誰もが活躍する場をつくろう！

⑥ みんなでボランティアの輪をひろげよう！

⑦ 先への不安を取り除く福祉活動を展開しよう！

⑧ 地域で防災・減災に取り組もう！

今回は
活動目標③です



活動目標 ③

見守りあい、支えあう仕組みづくりをすすめよう！

地域では、少子高齢化と若者の町外流出により単身世帯が増え、昔からの行事の継続が困難になったり、「お互いさま」の気持ちで助け合う関係性が弱くなったりしています。

一方で、支え合いに関心を持っている人は多く、この気持ちを行動に移すきっかけづくりが必要です。新しいことを始めるのではなく、ふだんの暮らしの中でお互いに気にかけて関係性を築く働きかけをおこないます。

社協ではこれまでも、地域でのお互いさまで助け合う仕組みについて話し合う場づくりを進めてきました。その流れをさらに加速し、安心して暮らし続けられる支援体制の構築に取り組めます。

町民みんなですすめましょう。

●希薄になりつつある隣近所との関係性を見直し、つかず離れず気にか
け合いましょう。

… ④ ひとり暮らし高齢者の家の電気が点いているかどうかなど…。

●住み慣れた自宅で安心して暮らし続けていくために、ご近所同士お互
いさまで助け合いましょう。

… ④ 困っている人がいたらそのままにせず、手を差し伸べましょう。

●今ある活動を無理なく継続させる方法や、地域の困りごとを解決する
方法について話し合う場をつくりましょう。

… ④ 集いの場や協議体で、意見を出し合いましょう。

社協職員募集

①社協福祉サービス職員【常勤嘱託】

生活困窮者支援、病院送迎など
*勤務時間／8：30～17：15

②障がい福祉の相談専門員【常勤】

障がい者からの相談対応
*勤務時間／8：30～17：15
*実務経験のある方優遇

③運営補助員【パート】

社協ひと花の施設運営補助員
*勤務時間／日中2～3時間



④ホームヘルパー【パート】

利用者宅での身体介護、家事援助
*勤務時間／日中2～3時間
*介護資格のある方

※①と②は63歳まで、③と④は65歳までの方

※②は次のいずれかの資格を有する方

社会福祉士、保健師、相談支援専門員研修修了

※随時面接のうえ、採用決定いたします

その他、詳しいことは職員採用担当までお問合せください。

神河町社協 ☎32-2303

みんな集まれ！ まちの子育てひろば

未就園のお子様と保護者が気軽に集い、仲間づくりをするのが『まちの子育てひろば』です。

神河町には次の『まちの子育てひろば』が開設されています。

ひろば名	内 容
神 崎 幼 稚 園 にこにこくらぶ	絵本の読み聞かせ 季節の行事 親子遊びなど
寺 前 幼 稚 園 ひまわりくらぶ	絵本の読み聞かせ 季節の行事 親子遊びなど
神 崎 保 育 園 わくわく広場	季節の行事 園庭開放など
寺 前 保 育 所 カフェてらまえ	親子遊び 育児相談 園庭開放 など
は だ し っ 子	おさんぽ はたけしごと 野遊び 茶話会 手しごとなど
お ひ さ ま (神河町子育て学習事業)	季節の遊び 体操教室など
野 外 自 主 保 育 み あ い っ 子	さんぽ 外遊び など *お母さん達によるあずかり合い

※詳しいことは社協へお問い合わせください。

心配ごと相談のご案内

6月は

無料

暮らしの安心相談

●開設時間／13時30分～16時

「相談内容」就労、生活

生活にお困りの方や求職活動に対する不安や悩みについて次の相談員が相談に応じます。相談時間は、お一人につき概ね30分です。

なお、この相談には行政相談委員、人権擁護委員が同席いたします。

7月は

法律相談

●開設時間／13時30分～16時30分

土地問題や金銭問題などのトラブルを法律で解決するために弁護士が相談に応じます。相談時間は1件につき概ね30分です。



暮らしの安心相談

開設日	会 場	相談員
6月 26日(水)	神崎支庁舎	神戸の冬を支える会 行政相談委員 人権擁護委員

法律相談

開設日	会 場	相談員
7月 24日(水)	神崎支庁舎	兵庫県弁護士会 派遣弁護士

※法律相談は予約制です。

※予約ない方でも相談に応じますが、その際、お待ちいただく場合がありますので、ご了承ください。

予約申込み先 神河町社協 ☎32-2303

*皆様から頂く社協会費や赤い羽根共同募金を財源に実施しています。福祉に関する相談は、社協窓口で職員が常時対応しています。

兵庫県弁護士会でも、電話による無料法律相談を随時開催しています。

詳しくは、兵庫県弁護士会のホームページをご覧ください。☎078-341-7061

感謝のお知らせ

(3月11日～5月10日) (敬称略・受付順)

【善意銀行】ありがとうございます

「喜びや悲しみ、また楽しいこと、うれしいことがあった折や人生の節目などに、あなたの思いを込めて、善意銀行へ預けませんか。広く福祉事業へ有効に使わせていただきます。」

氏 名	地 区	預託いただいた方からの「ひとことメッセージ」
荒 川 司	吉 富	母、シカノが大変お世話になりました。
藤 原 栄 一	高 朝 田	父が大変お世話になり、ありがとうございました。
片 岡 一 平	吉 富	母、ミヨ子が大変お世話になり、ありがとうございました。
竹 國 敏 郎	越 知	大変お世話になりました。
福 村 文 男	岩 屋	父、允男が皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。
藤 後 春 子	加 納	夫、光夫が大変お世話になり、ありがとうございました。
若 畑 き み 子	根 宇 野	夫、良雄が皆様に大変お世話になり、ありがとうございました。
澤 田 博 行	大 山	母、禮子が大変お世話になり、ありがとうございました。
玉 田 一 男	加 納	妻、邦子がお世話になり、ありがとうございました。
山 口 勝 美	杉	父、好孝が皆様に大変お世話になりました。
足 立 学	山 田	父、大二郎が大変お世話になりました。
預 託 合 計		330,000円
善意銀行の預託金は、子育て世代支援イベントの開催や子育てひろば、ボランティアの活動助成金、高齢者などへの福祉給食サービスの材料代などに使われています。		* 善意銀行への預託は、確定申告の折、所得税の寄付金控除を受けることができます。また、次年度の町民税についても控除対象となります。(いずれも下限額あり)

ありがとうございます

物品収集・物品預託

(半期分)
2023.9.11 ~
2024.4.30

【物品収集】《古切手・ベルマーク・書き損じハガキ等》

藤村峰子 (高朝田) ビジョンマニファクチャリング兵庫(株)
中野正義 (東柏尾) (株)マエジマ自動車
大中 将 (上 岩) (有)よしのや
榎 佐代子(野 村) かんざき訪問診療クリニック
仲井美江子(山 田) 中島重機(株)
藤原義正 (杉) (株)ウイング神姫栗賀営業所タクシー部
藤原恵美子(寺 前) 児童センターきらきら館
山名悦子 (寺 前) 子育て学習センターおひさま
中野昭子 (東柏尾) はにおか運動公園
山下嘉子 (大 河) 多機能型事業所ひと花
越知谷大衆交実行委員会 神河町上下水道課
神河町手をつなぐ育成会 神河町税務課
越知谷協議体 神河町健康福祉課
しあわせのひなた 神河町地籍課
中はりま森林組合 神河町総務課
ヘアステーションIWAKI 匿名14件

令和5年度に寄付していただいた古切手、ベルマーク、書き損じはがきなどを、NPO法人誕生日ありがとう運動本部(神戸市)に送りました。知力のハンディキャップのある人達への正しい理解と共感を広げることが目的とする社会啓発活動に役立てられます。

【物品預託】

足立 房枝(大 畑)…手編みの靴下100足、ポケットティッシュカバー106ヶ
足立江津子(吉 富)…介護用パジャマ、トロミ
小林登代子(大 山)…衣類
藤山 達仁(野 村)…薬カレンダー
安部美智子(大 畑)…手編みの靴下40足
澤田 博行(大 山)…介護用品、衣類
越知谷大衆交実行委員会…食品、ハンドソープ他
根宇野老人クラブ…雑巾(158枚)
エル・ビレッジおおかわち…食器等
匿名20件…介護用品、衣類、食品
生活雑貨など

寄付していただいた物品は、町内の学校や福祉施設、福祉給食サービス利用者にお配りしたり、在宅の要介護者や生活困窮者支援のために使われています。



根宇野老人クラブより

かみかわペンリレー 75人目



町内の皆さんを一つの輪でつなげます。

〈前号の清水琢朗さん(大畑)からの紹介〉

ふじわら ゆうさく
藤原 優作さん
(寺前)



質問:ご自身の性格を分析してみると…

答え:あまり、くよくよしない。

質問:人にちょっと自慢できることを教えてください

答え:犬に、めっちゃ好かれる。

質問:あなたが思う神河町のいいところを教えてください

答え:自然が豊かで、人が優しく住みやすい。

質問:将来の夢は何ですか?

答え:畑で野菜を育てながら、のんびり暮らすこと。

質問:あなたが今、夢中になっていることはどんなこと?

答え:妻とカフェめぐり。

質問:これまでの人生の中で、一番思い出に残る出来事は?

答え:子どもを授かったこと。

質問:これから神河町内で取り組んでいったら良いと思うことは?

答え:子育てがしやすい町にしてほしいです。

◎神河町のみなさまへのメッセージをどうぞ!

地域の方々にいつも支えられて、本当に感謝しています。

◎清水さんから藤原さんにメッセージ

「これからもたくさんお世話になりますが、よろしくお願いします!」